

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・12月予測） ～横這い圏内で推移

2023年12月6日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）ⁱを作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）ⁱⁱを DATASALAD にて公表している。本稿では、2023年11月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2023年12月の予測 CI を解説する。

2023年12月の九州7県の予測 CI：雇用分野に足踏み

2023年12月における九州7県の予測 CIⁱⁱⁱは前月比0.2%の115.7と微増となり、横這い圏内での推移となった。都道府県 CI は、新型コロナウイルス感染者の減少等に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除により2021年10月にプラスに反転したが、2022年9月以降は伸びが緩やかになった。2023年12月は、前月に比べて消費分野の先行系列がわずかに改善したが、雇用分野の回復が減速した。

なお、全国は前月比▲0.3%の113.1と微減となり、九州と同様に横這い圏内となる見通しである。九州7県と同様に雇用分野の先行系列が低下し、低下幅が九州7県よりもわずかながら大きかった。

図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2023年9月までは実績値（都道府県 CI）、2023年10月～12月は予測 CI

注2) 2023年12月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

2023年12月の九州地域の予測CI：9県中6県でマイナス

2023年12月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、9県中6県でマイナスとなった。福岡県、沖縄県は回復傾向、宮崎県は低下傾向、その他の県は横ばい水準で推移している。当月のプラス・マイナスを分けた要因は、前月と同様に概ね雇用分野となった。前月比プラスとなった福岡県、佐賀県、沖縄県の3県と長崎県は雇用分野の先行系列がプラスとなっている。全体として雇用分野の回復は前月に続き停滞傾向にあり、当月は建設業、製造業の実労働時間、所定外労働時間等の回復が弱くなり、景気回復の足かせとなる可能性がある。

表1 都道府県CI、予測CI（全国、九州地域）

	指数（2015年=100）						前月比（%）					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2023年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
全国	112.3	113.1	112.2	113.8	113.4	113.1	▲ 0.9	0.7	▲ 0.8	1.4	▲ 0.3	▲ 0.3
九州7県	112.6	113.7	115.3	118.3	115.5	115.7	▲ 2.1	1.0	1.4	2.6	▲ 2.3	0.2
山口県	89.9	89.1	88.4	88.3	90.0	89.4	3.2	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 0.0	1.9	▲ 0.6
福岡県	113.5	117.8	121.7	124.7	120.7	121.1	▲ 4.1	3.8	3.3	2.5	▲ 3.2	0.4
佐賀県	90.5	85.0	83.8	89.6	85.9	90.8	0.5	▲ 6.1	▲ 1.4	6.9	▲ 4.1	5.7
長崎県	122.5	117.0	115.8	117.9	116.9	116.5	7.6	▲ 4.5	▲ 1.1	1.8	▲ 0.9	▲ 0.3
熊本県	123.5	127.4	126.3	126.6	127.5	123.2	▲ 7.6	3.1	▲ 0.8	0.2	0.7	▲ 3.3
大分県	112.0	116.0	118.8	120.7	122.6	122.4	1.4	3.6	2.3	1.6	1.6	▲ 0.1
宮崎県	93.7	87.7	92.8	93.0	91.3	87.4	▲ 4.5	▲ 6.3	5.8	0.2	▲ 1.9	▲ 4.3
鹿児島県	116.5	117.7	115.5	117.1	113.4	109.7	▲ 2.7	1.0	▲ 1.8	1.4	▲ 3.2	▲ 3.2
沖縄県	129.0	122.3	131.1	136.2	136.4	137.1	2.8	▲ 5.2	7.2	3.9	0.2	0.5

注1) 2023年9月までは実績値（都道府県CI）、2023年10月～12月は予測CI

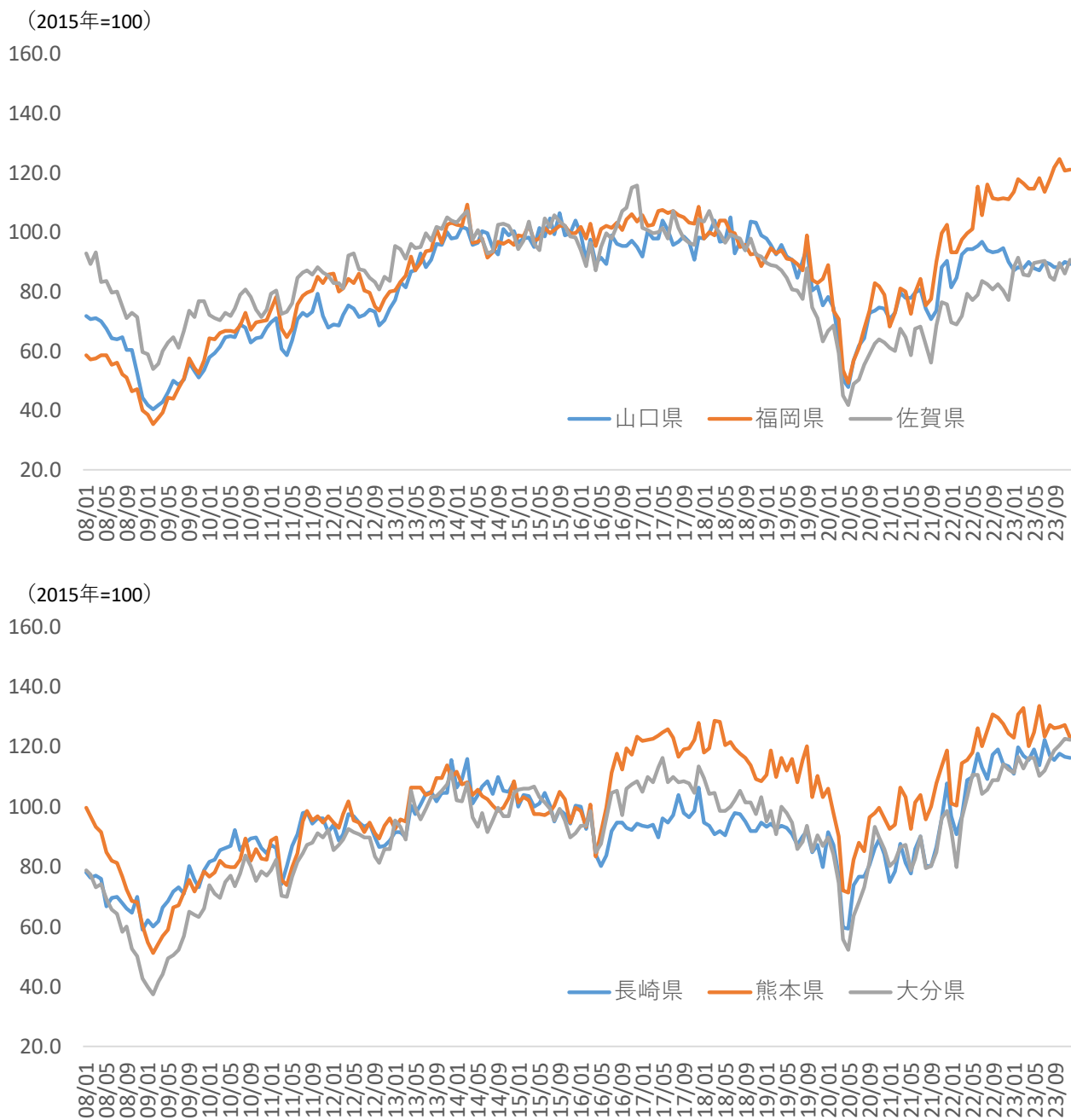
注2) 2023年12月1日時点の値

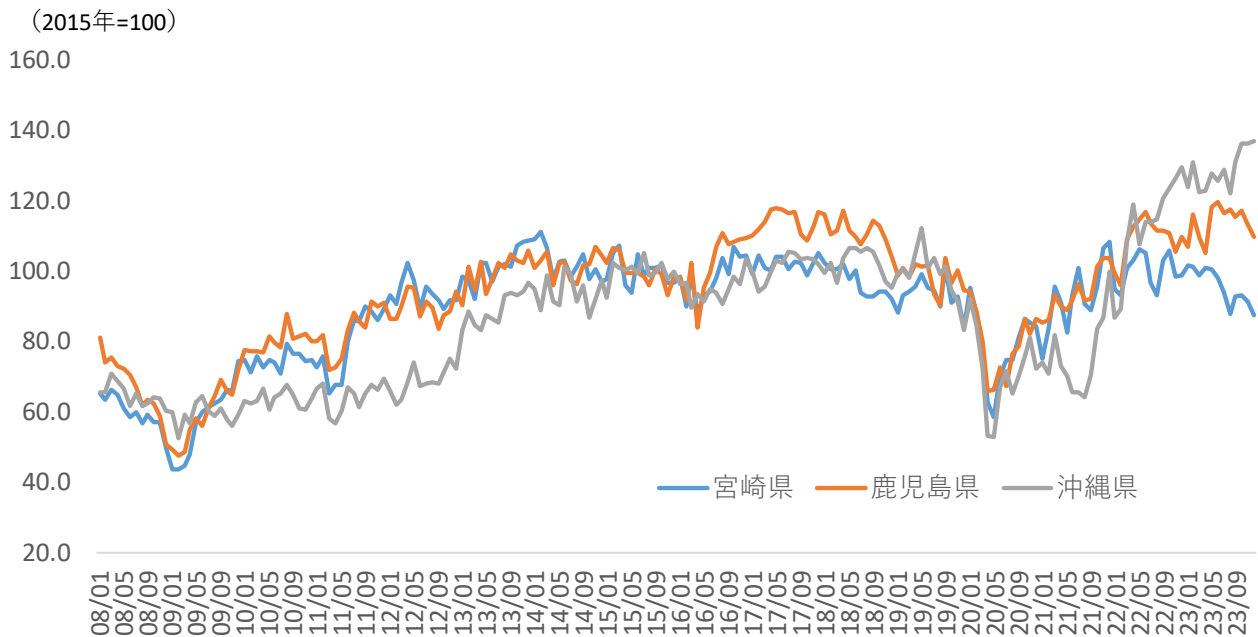
資料) 九経調 DATASALAD

松嶋 慶祐（調査研究部 次長）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)





注1) 2023年9月までは実績値(都道府県CI)、2023年10月~12月は予測CI

注2) 2023年12月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

- i 景気動向指数(CI)は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県CIは、内閣府が公表するCIの作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「CI手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」、九州経済調査月報2019年11月号

- ii 予測CIは、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県CIを予測したものである。経済指標のほか、気象データ(気温や降水量)など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測CIは全国、地域ブロック、九州地域(九州、沖縄県、山口県)の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」、九州経済調査月報2020年1月号

- iii 2023年4月の都道府県CI、同年7月の予測CIより系列を改訂した指数としている。改訂内容の詳細は下記レポートを参照されたい

- ・松嶋慶祐、三井栄「新型コロナウイルス感染拡大による都道府県別経済影響度分析」、九州経済調査月報2023年6月号